

所蔵品展 No.161

開館 40 周年記念 名品選

会期: 7.15_[土]~8.27_[日]

休館日: 月曜日

開館時間: 9時30分~17時 (入館は16時30分まで)

料金: 一般 210円 (160円)、大学生 100円 (80円)

※()内は20名以上の団体料金。
 ※下関市と北九州市在住の65歳以上の方は半額免除。
 ※18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。
 ※観覧料免除にはいずれも公的証明書が必要です。
 ※最新の情報は美術館HPをご確認ください。

1983 年の開館から 40 周年の今年——

美術館が所蔵する約 2,400 点の作品の中から、美術館の顔として知られる作品や来館者から人気を集める作品、他館からの貸出依頼の多い作品、館長・学芸員一押しの作品など、いろいろな視点から約 50 点の名品を選びすぐって展示します。

▶ 美術館の基礎を形成する河村コレクション

美術館開館のきっかけは、下関市出身の実業家・河村幸次郎氏による下関市への美術作品の寄贈でした。河村コレクションは、香月泰男、岸田劉生、藤田嗣治、高島北海ほか古代オリエント工芸やヨーロッパのガラス工芸などから構成されています。代表作の岸田劉生《村娘之図》、藤田嗣治《パリのマドレーヌ》も必見です。

▶ 館長／学芸員が「ぜひ見てほしい」と願う作品

館長や学芸員スタッフ一押しの作品を、コメントともにご覧ください。

▶ 来館者に人気の作品

岡鹿之助《遊蝶花》など来館者アンケートで人気の作品や、美術館で造形活動をしている方々から支持を集めた作品も紹介します。

▶ 貸出しオファーの多い作品

香月泰男、狩野芳崖など下関ゆかりの画家ばかりでなく、藤田嗣治や岸田劉生の回顧展には必ずと言っていいほど、「下関市立美術館蔵」の作品が出品されています。松本竣介《街にて》もそんな作品のひとつ。屈指の作品の数々に、ぜひ触れてください。



出品作品:

(左・上から) 岸田劉生《村娘之図》1919年、古賀春江《題のない画》1929年、橋本雅邦《蘇武図》1898年、小田海儼《林和靖図》

下関市立美術館
Shimonoseki City Art Museum

(担当: 関根)

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1
 TEL. 083-245-4131 FAX. 083-245-6768
 E-Mail kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
 HP <https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/>

詳細はHPへ!

下関市立美術館

所蔵品展の 関連催事

■ ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

日時：8月6日（日）、8月19日（土）各日とも13時30分～（約1時間）

会場：2階展示室

- ・事前予約は不要です
- ・参加は無料ですが、所蔵品展の観覧受付が必要です

■ ギャラリートーク for Kids

小さな声でお話ししながら展示室をまわってみよう！
子ども向けのギャラリートークです。ご家族でご参加いただけます。

日時：8月18日（金）、19日（土） 各日とも10時～

会場：2階展示室

- ・事前予約は不要です
- ・参加は無料ですが、所蔵品展の観覧受付が必要です

会期中の こども造形教室

■ 筆を使わずに絵を描こう

日時：8月1日（火）、2日（水） 各日とも13時30分～15時30分

対象・定員：小学生（1-2年生は要保護者付添）・各日10人 **【受付は終了しました】**

参加費：500円

講師：村岡真樹氏（画家）

こども造形教室のお申込み方法：

お申込は美術館ホームページから google form または電話・来館で承ります。
（定員になり次第締切）

※「筆を使わずに絵を描こう」は参加者が定員に達したため、応募受付を終了しました。
「自然の色ってどんな色？」は応募受付中です。（6月29日現在）

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・発熱のある方、咳・咽頭痛などの症状のある方は、入館をご遠慮ください。
- ・入館に際しては、手指の消毒、手洗い、他のお客様と距離を保つこと（2m程度）にご協力ください。
- ・作品、展示ケース、壁にさわらないでください。



作品、展示ケース、壁にさわらない

